

第3回すこやか大阪21（第2次後期）推進会議【書面開催】 会議要旨

標記会議は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、書面による意見等の聴取の実施により開催した。

1 開催期間

令和3年5月21日（開催通知送付日）から令和3年6月1日（意見等の聴取期限）

2 委員及び事務局

別紙のとおり

3 議題

- (1) 「すこやか大阪21（第2次後期）」の進捗状況について…………… 資料1～3
- (2) 「すこやか大阪21（第2次後期）」の取組みについて…………… 資料4～10
- (3) すこやか大阪推進のための職員研修について…………… 資料11
- (4) 地域・職域保健実務者会議について…………… 資料12
- (5) その他…………… 資料13

4 委員からの主な意見

- (1) 「すこやか大阪21（第2次後期）」の進捗状況について
 - ・ コロナ禍で健診受診者が減少傾向にあるため、かかりつけ医の協力のもと健診数を増やすことができる様、アプローチが必要だと思う。
 - ・ 市民・中高生・産婦等各種アンケートの回答数（実施数）も記載してはどうでしょうか。
 - ・ 健康増進の全体目標に「減塩」は欠かしてほしくない。大阪市の高血圧者は特に男性で減少してはいない。適正体重が守られていても食事内容が望ましくなければ、健康につながると思えない。東京では現在も減塩を呼びかけているようだ。
 - ・ 要介護の要因として、男性の1位「脳血管疾患」以外の上位は、フレイル（関節疾患、骨折・転倒、高齢による衰弱）が占めています。次の目標設定の際には、健康寿命に影響する要因として「フレイル」と「認知症」はあった方がいいと思います。
 - ・ コロナ禍による各アクションプランの実施、進捗の停滞が懸念されます。取り組みの再検討などを進めていただきたい。
 - ・ いろいろな検診による「一次予防」に特に注力されているのがよくわかりました。ただ、こういうプロジェクトやプランにもれる「主婦や高齢者」をどう拾い上げるかが課題だと思いました。

- ・ すこやか大阪21（第2次後期）は、成功している事項がある一方で功を奏してない事項もあります。基本理念とそれに沿うテーマは市民に対してとてもためになる事項です。しかし、功を奏してない事項のある原因は市民に届く啓発手段が少なく市民には十分届いていないのではないかと察します。
- ・ 「目標値の推移」全体的に数値が悪化しているものが多いように感じました。国保特定健診のデータで評価しているものが多いですが、令和元年（2019年度）のデータということで、コロナの影響はあまりないように思います。（あっても最後に数か月）注視が必要ということで良いのでしょうか？「アクションプラン」R2実績の記載がない項目もありますが（「一回、一人」など）、0回、0人ということでしょうか？記載が一貫していないようにも思いました。実績の数値がないが「順調」とする場合は、R1までで評価など、注釈をつけていただくと良いかと思えます。
⇒ 資料3「アクションプラン」の作成時点において、令和2年度の取組実績が未集計の項目につきまして、「一回、一人」と表記しております。

（2）「すこやか大阪21（第2次後期）」の取組みについて

①すこやかプロジェクト～セルフモニタリング～

- ・ 対象が事業所等としていて、個人では参加できないのは惜しい。
- ・ 取組み手法が、冊子手渡しからメールや電子アンケートに変更されてよかった。
- ・ 事業所で働く世代はスマホを使いこなしていると思われる。郵送ではなくメールの方が、アンケートも手軽で回収率も上がると思う。
- ・ 体調管理、栄養管理、運動習慣づけを新しい取組み手法で記録し、その結果を自分で確認する事が出来たら良いです。アンケートの結果でその成果を見れたら良いと思います。

②「アスマイル」普及啓発

- ・ うまく活用されている市民の実例と利用するやりがいやメリットを個人の談話として掲載するとよいと思います。
- ・ インセンティブ効果による「アスマイル」への参加希望者は多いと思うので、登録・利用方法がわからない方への周知が重要であると考えます。
- ・ スマートフォンを活用した形ある取り組みであり、素晴らしいと思うが、利用者を増やす広報戦略の検討が必要ではないか。ただ、スマートフォンの操作が苦手な高齢者に向けては他の支援が必要ではないか。
- ・ 登録者数がR2年3月：19,701件→R2年12月：53,036件と大幅に増加していますが、コロナ抗体価検査と関連したものでしょうか？登録だけで終わりにならないよう、以後のアクティビティも追跡されると良いかと思えます。
⇒ 令和2年度の登録者数の増加につきましては、委員ご指摘のとおりコロナ抗

体価検査と関連した登録の影響が大きいと考えておりますが、本市におきましても、さまざまな機会を利用して登録者数増加への取組を行っており、令和3年3月末時点登録者数は55,120人となりました。今後も引き続き取組を進めてまいります。

③特定健診受診勧奨の拡充（AIの活用）

- ・ AIが使われているとは正直言って知らなかった。特定健診で生活習慣病の重症化が予防できるかどうか疑問がある（重くなる人なら通院などしていそう）が、受診勧奨は大事であるので、続けてほしい。
- ・ R2年9月16日受診勧奨発送後の11月に「前年より延びた」とも読めますが、逆にR元年8月だけなぜ高かったのかがわかれば、参考になると思います。
- ・ 国民健康保険被保険者の特定健診の受診対象者のうち不規則の受診者及び前年度新規加入者を対象とされているということですが、とても大事な活動であると感じました。こういう地道な「勧奨はがきの送付」などが受診率アップの実を結ぶ気がしました。
- ・ 受診勧奨発送を「緊急事態宣言を鑑みて発送見送り」となっているが、健診のため医療機関に受診勧奨することを見送る必要があるのか？
 - ⇒ 令和2年5月26日に厚生労働省から発出された「新型コロナウイルス感染症に係る緊急事態宣言の解除を踏まえた各種健診等における対応について」において、緊急事態宣言が再度行われた場合の対象地域における各種健診等の実施については、特定健康診査等の実施が地域の医療機関等の負担とならないよう十分留意することとされております。発送予定の1月下旬については、府内全域で感染が大幅に拡大する状況にあり、医療機関等への問い合わせや受診者が増加することによる、医療機関等への影響を鑑み、送付を停止したものです。

④クックパッド公式キッチンによる健康的なレシピ発信

- ・ クックパッドは利用者も増えており、身近なアプリとして周知されているので良いと思う。簡単時短メニューの充実で更に利用者が増えるのではないかと感じた。
- ・ 掲載写真をもう少し工夫すると、更に良くなる気がします。
- ・ 個人的には、好きな取組みです。ただこのサイトまでたどりつけるのか？美味しそうに見えるレシピは手間がかかりすぎて初心者が作ろうと思うか？「給食」を食べたいと思うかーなどと疑問がわきました。
- ・ コロナ禍により、外食や中食からより家で食べる生活に変化していることはよく耳にしますが、このような中で、大阪市が「クックパッド公式キッチン」を開設し、バランスのとれた「簡単に作れるもの」や「野菜をたくさん使ったもの」を掲載し

ているということですが、まさに今の住民の「ニーズ」や「ウォンツ」に答えた素晴らしい取り組みだと感じました。

⑤食環境づくり推進事業「やさいTABE店事業」

- ・ 参加店舗をどんどん増やしてほしい。店舗の一覧表は見にくい。「梅田付近」「難波付近」などエリアを表示してもらえると嬉しい。野菜の量だけでなく塩分量にもこだわって、健康志向の商品を奨励してあげてほしい。
- ・ 私の住んでいる地域でも、外食栄養成分表示の店や農協が主催のレシピコンテストを野菜の生産直売所で行っていたりしますが、まだまだ関心を持っている方が少ないようです。大阪市においてももっとこのような取り組みを進めてほしいと思いました。
- ・ 野菜をたくさん食べることができる飲食店が増えたら、飲食店を利用する方の野菜摂取量が増えると思います。また、外食するとき、野菜がたくさん食べられるお店を簡単に探せたらうれしいです。

⑥大学連携事業

- ・ 市内の大学や専門学校に広めてはいかがでしょうか。学位につながるとより普及すると思います。
- ・ 大阪市立大学生活科学部で学生ボランティアを養成されているとのこと、修了者、受講途中の者とまだまだ数は少ないと思うが、是非ボランティア活動などで活躍して頂くことを大いに期待している。彼ら自身も健康に無関心な生活習慣を見直す良い機会になったことと思う。
- ・ 取り組みは素晴らしいが、受講者をどのようにして増加させるかが課題だと思われる。
- ・ 人材育成という点でおもしろい取組みと思いました。講師は、大阪市の職員の方でしょうか？
⇒ 当事業につきましては、講師は、大阪市健康局職員です。

⑦スポーツスタートアップ事業「OSAKA HERO PROJECT」

- ・ ちょこエクは、興味をそそる内容なので定期開催を希望します。
- ・ 大阪市では、平成29年3月に「大阪市スポーツ振興計画」を策定し、令和3年度までに市民の方のスポーツ実施率を65%にする目標を掲げているとのこと、特に実施率が低い20代から40代の女性を主なターゲットにし、興味深い取り組みを考えられたと思う。実施された方がSNSで発信されているのも他の人が自分もやってみようという気にさせてくれると思った。

(3) すこやか大阪推進のための職員研修について

- ・ 中止が多く、残念です。
- ・ 推進に向けた生活習慣病予防の取り組みを効果的に展開できる職員研修ですが、やはり、対面で行う研修会の方が効果は大きいと思います。ほかの研修会や出前講座などと同様に、アフターコロナを見据えて、少ない人数の参加と同時配信のハイブリッド方式が良いのではないのでしょうか。
- ・ 令和2年9月29日という緊急事態宣言発令の合間で研修ができて92.9%の方が今後に役立つ、活かせるという感想をもたれたのは、きっといい研修を実施されたと思うが、他の講習会はコロナ禍で開催できなかったことは、やむをえないが残念である。
- ・ 統計講習の詳細はわかりませんが、中止せずにeラーニングやZoom配信では対応できないのでしょうか？
 - ⇒ 保健衛生統計講習会については、令和2年度はコロナに関する各種対応への繁忙及び受講者のコロナ感染拡大防止の観点から中止の判断をいたしました。現時点でコロナ感染の終息予測は困難ですが、令和3年度については、委員ご指摘の通り、Web講習等の開催について検討してまいります。

(4) 地域・職域保健実務者会議について

- ・ この様な会議は大切な事だと思います。
- ・ 大阪市のこころの健康センターの見学をさせていただいき、ストレス対処法やリラクゼーションの講義と体験をさせていただいたことがあります。感動したことを覚えています。いろいろな団体が1つになり、推進事業を進める意義は大きいと思いました。
- ・ 受動喫煙の推進を議論して欲しい。

(5) その他〔大阪市健康増進計画「すこやか大阪21(第2次後期)」推進スケジュール(案)〕

- ・ 検討会議、すこやかワーキングは回数が多い。
- ・ ITの環境整備など難題もあると思いますが、Webでの会議開催も今後検討してみてもはどうでしょうか。
 - ⇒ 委員ご指摘の通り、新型コロナウイルス感染症の感染拡大等の状況も鑑み、Webでの会議開催も含め、今後検討してまいります。